

地域の課題解決へ活動

＝大島新支部長らが会見＝

地域委員会との議論の場増やす

建コ協
関東支部

建設コンサルタント協会関東支部の大島一哉新支部長が1日会見し、「建設コンサルタント協会本部の施策等を支部として推進するとともに、支部の役割を再確認し、関東の各地区の特徴や課題を把握して、課題解決などに向けた活動を進めていきたい」と就任の抱負を述べた。

会見には、大島新支部長のほか、新たに就任した西谷正司副支部長、再任された木下哲副支部長が出席した。

西谷副支部長は、「協会本部をサポートするとともに、地域の課題解決に向けて取り組みを進めていく」と述べ、木下副支部長は「これまで受け継がれてきた地方重視の考えの流れを、引き継いでいきたい」としている。

大島支部長は「地域委員会との議論をこれまでよりも増やし、各地域の課題を整理する」とし、これを基に「課題を確実に解決していきたい」と力強く語った。

また、人材確保などのため、一層魅力ある建設コンサルタント業界とすることが重要な取り組みの1つとしており、「各地域における大学等の卒業生の就職先を把握する



木下副支部長④、大島支部長⑤、西谷副支部長⑥

取り巻く状況は厳しいが、建設コンサルタントが安全安心な国土づくりのために果たす役割と責任は大きく、その能力を十分に発揮して期待に応えていく必要がある。

そのため、同支部は、中期行動計画「関東グロ1カルビジョン2008」に謳われた倫理の保持、技術力の確保と向上、社会資本のあり方の提案、社会貢献活動などを引き続き着実に推進するとともに、地域会員の支部活動への参画、地域研究員の入会促進、地域行政との連携による地域活動の強化を引き続き進めていく。